

山) 定期大会開催。コロナ乗り切ろう

【松】現業正規採用など運動方針確認



松山市職労は11月2日定期大会を開催し73人が参加。高橋委員長は「今年はコロナウイルス感染拡大の影響で、勤務体制の変更など業務への影響もあるなか、組合の工夫と努力でしのいできた。要求活動では現業正規採用について、職員の平均年齢も徐々に上がる中で

対応が急がれる。要求書を提出しているので折衝で詰めていきたい」と話しました。経過報告では昨年の大会以降の組合加入や人勧の状況など報告。運動方針では「現業の正規採用」「標準規格に基づいた賃金改善」「公的保育を守る」など全会一致で確認。役員改選で再選した高橋委員長の「團結がんばろう」で大会を終え、感染対策を講じての懇親会を行いました。

【西】楽しい雰囲気での交流、笑顔

条) 青年部新採歓迎会開催

西条市職労青年部は10月30日、今年度初イベントとなる「新採職員歓迎会」を開催。新採職員(組合加入者)と青年部員あわせて36人で、職場やプライベート等の会話で盛り上がり、楽しい雰囲気での交流を深めました。

「新採歓迎会を通して、組合内でのつながりも増えたと思うので、今後予定されている青年部活動も積極的に参加いただけたいと思います」と青年部。参加のみんなのいい笑顔がとても印象的な会でした。



子)「うちこ健康ウォークラリー」

【内】小田を歩き体と心を元気に!

内子町職は11月1日、町職健康づくり事業として『うちこ健康ウォークラリー』を開催。組合員48人(親子参加6組)で5班に分かれ、組合員の健康づくりや交流、コロナ禍に負けないチーム力と元気を養う機会として、小田地区内をウォーキング。コースは保健センター作成の「うちこ健康マップ」小田編を

活用し、5カ所のチェックポイントで、健康づくりを競い、小田地区に関するクイズにも挑戦。成績優秀者には、小田地区の特産品をプレゼント。参加者全員へ内子町観光協会のプレミアムチケットを配布など、組合員の親睦が深め、大盛況のイベントとなりました。



治) 定期大会開催。コロナ禍で活動

【今】模索しみんなで活動した1年に



今治市職は10月29日定期大会を開催し50人が参加。佐々木委員長が「今年、新型コロナウイルスの影響で例年と同じ活動はできなかったが、組織拡大ではコロナ禍でもできることを模索して活動し、組織拡大につながった」などあいさつ。運動方針では「要求活動では、職場の声を吸い上げ、声に基づく要求交渉を行う。組織拡大は最重要課題、未加入者へのアプローチ、本

庁の組織拡大をめざし、執行委員で未加入者の加入対策会議を行う」と提案。討論では、保育部会、青年部、女性部、給食部会などから発言があり、参加者の拍手ですべての報告・提案が承認された。最後に今年組合加入の新入職員の紹介で、先輩職員から新組合員へ一言とプレゼントを手渡し、新採から「入庁したばかりで分からないことだらけ、これから頑張りたい」といいたいなど決意表明がありました。

予) 女性部研修で西予ジオパーク

【西】西予市のすばらしさを堪能



西予市職労は10月24日、女性部1日研修として『地元、明浜の魅力を満喫するプラン』を計画し、町や歴史をこれからは大切に守っていかねばならないと感じました。その後、「真珠でアクセサリー作り体験」、レストラン「あけはまぐれ」でおいしい海

「あなたの職場の賃金構造を知ろう」をテーマに、「残業・休日出勤・深夜手当」の時間外手当などについて学習。続いて石井県自治体一般労組委員長より「民間と公務がチカラを合わせて待遇改善を」をテーマに、「春闘・人事院勧告」など、民間や公務職場での賃金改定の流れ、相互に影響しあう関係などの基礎学習を行いました。

【非正規公共】定期総会、学習交流会を開催

時間外手当、賃金など基礎学習



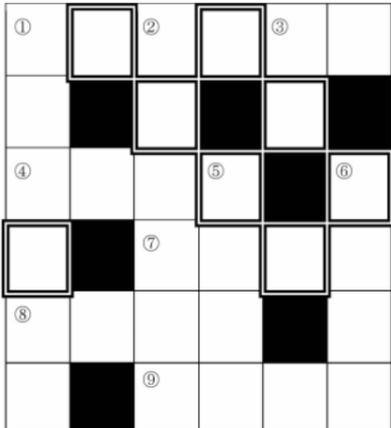
11月1日、非正規公務員公共評議会と非正規公務員学習交流会を開催。非正規公務員評議会では、運動方針として、県内の会計年度任用職員の組織化を進めることを提案。総会に引き続き、「学習交流会」を開催。高尾県本部委員長を講師に

「365歩のマーチ」を思い出します。最初「演歌歌手」のお題を見たとき、石川さゆりとか美空ひばりとかが浮かんできました。水前寺清子という発想はなかったなあ。 (今治・白石)

「ひとり暮らしをはじめ、実家のありがたみを感じつつ、観葉植物を育てはじめたりと今まで実家にいた際にはしていな

マス目を埋め、二重枠の8文字で、返ってくる？全部？半分？にして下さい。

- 【ヨコのカギ】
- ①洋傘。見た目からこうも呼ばれる
 - ④組織や機関を初めてつくる。創設
 - ⑦一時にたくさん入手したり失ったりするさま。税金に〇〇〇〇持って行かれる
 - ⑧四方の西、四神の一。虎で表される
 - ⑨「察する」の丁寧な表現。ひとかどの人物と〇〇〇〇する
- 【タテのカギ】
- ①階数の多い、高い建築物の呼び名。超〇〇〇〇〇〇
 - ②秋に獲れる、南下してくる鱈
 - ③な〇〇せい、メ〇〇ン、知らぬ〇〇とけ
 - ⑤漫才で、ボケと〇〇〇〇
 - ⑥選り分けること。えりわけ



出題者 堀川孝行

■524号のバズルの答えは「スイゼンジキョコ」(水前寺清子)でした。正解は通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

岡崎 美郁(宇和島)
白石 聡(今治)
竹本 明人(西予)
武智 徹(東温)
青木 将吾(宇和島)

【応募方法】バズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載

【締切り】12月27日【発表】528号(1月号)

おたより

■秋祭りに例年のにぎやかさがない10月が過ぎ、子どもたちから慣れ親しんだ風景のない寂しさは何とも言い難いですね。 (今治・白石)

■今年の夏も暑かった。来年は草むしりなど無理しないようにしましょう。 (今治・越智)

■気温も下がり、冬の訪れを感じます。乾燥もしてきたので、コロナとイ

ンフルエンザの予防をしっかりしていきたいです。 (宇和島・青木)

■水前寺清子といえば「365歩のマーチ」を思い出します。最初「演歌歌手」のお題を見たとき、石川さゆりとか美空ひばりとかが浮かんできました。水前寺清子という発想はなかったなあ。 (今治・村上)

■ひとり暮らしをはじめ、実家のありがたみを感じつつ、観葉植物を育てはじめたりと今まで実家にいた際にはしていな

かったことをして、観葉植物の可愛さに癒やされています。四国内での旅行をというのでダイビングを予約したのでそれに向けてお金を稼ごう！と仕事もがんばってます！ (新居浜・岡嶋)

■「人員不足で夏季休暇が取れない」との意見が印象的でした。コロナで先が見通せない中ではありますが、今後は業務量に見合った人員が確保され、夏季休暇の取得率が向上することを願います。 (宇和島・河野)